■設計者の皆様方へ　※オーダーされる前に必ずお読みください※不明点等ございましたらお気軽にお問い合せください。
■施工業者の皆様へ　※施工される前に必ずお読みください※不明点等ございましたらお気軽にお問い合せください。

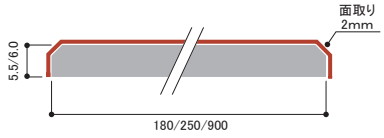
ラッピングウォールエコ【定番製品仕様/特性】

【製品仕様】

使用基材	不燃ケイカル板（6mm）、MDF（5.5mm---）				
6尺サイズ	W180×H1800×t6/5.5（0.32㎡）…最小ロット4枚～	W250×H1800×t6/5.5（0.45㎡）…最小ロット3枚～			
8尺サイズ	W180×H2400×t6/5.5（0.43㎡）…最小ロット4枚～	W250×H2400×t6/5.5（0.6㎡）…最小ロット3枚～			
大判サイズ	W900×H900×t6/5.5（0.81㎡）…最小ロット4枚～	W900×H1200×t6/5.5（1.08㎡）…最小ロット4枚～			
仕上げシート	強化紙（特殊コーティング）	デザイン	平板タイプ/面取り2mm	仕上げカラー	木目11色（001～011）

※定番サイズ以外のご注文は特注品として承ります。

平板タイプ断面図



※ シートの仕上げ範囲（右上図参照）
平板タイプ：表面及び左右長手方向（赤部）小口までの巻きこみです。短手方向の小口は 1 ～ 2mm 程度巻き込み、断面基材が見える仕様です。
※ 防火認定番号について・・ラッピングウォールエコ定番品は、ケイカル板 /MDF 平板を強化紙で仕上げた製品です。（ケイカル：不燃認定番号：NM-8577）設計図書等へ記入の仕上げ材不燃番号 **NM-4599** を表記ください。

⚠【注意】本製品は仕上げ済みのデリケートな製品です　運搬時、保管時、施工時の際は丁寧にお取り扱いください⚠

■ご購入後（納品後）一週間以内にご使用（施工）ください。（放置することによりシートのカット部が剥離する恐れがあります）
■切断時は剥がれ・キズ防止のため、切断・カット加工の際には慎重に加工してください。
■屋外や、直接水のかかる場所では使用出来ません。
■湿度・温度の高い場所、熱源に近い場所、直射日光の当たる場所の使用は変色･変形が生じる可能性がありますので設置しないでください。

【参考資料】

【両面テープ・接着剤併用工法参考手順】

1 下地の確認 — 被着材の油分･ゴミ･ほこり等を除去、清掃する
2 墨出し割付 — 被着材に合せて下地に墨出し、割付を行う
3 ※プライマー — ※下地を考慮し必要な場合プライマー処理を行う
4 両面テープ — 所定の位置にテープを貼るローラー等で充分押さえる
5 接着剤 — 被着材に適量の接着剤を塗布する
6 貼り付け — 接着剤塗布後速やかに貼り付けを行い被着材の上から充分加圧する
7 ※シーリング — ※現場状況を考慮し必要な場合必要部位にシーリング処理を行う
8 養生 — 接着剤が硬化するまで養生する

推奨接着資材（現場手配品/注文可能品）

接着剤	ボンド MPX-7 	仕　様	シリコーン樹脂系エマルジョン
		推奨メーカー	コニシ㈱
		使用方法	TM 工法 （パネルタックテープと併用）
		適用範囲	≒170 g / ㎡ (0.5 本)
両面テープ	パネルタックテープ 	仕　様	粘着テープ
		推奨メーカー	日東エルマテリアル㈱
		使用方法	TM 工法 (MPX-7 と併用)
		適用範囲	3.3m/ ㎡

推奨接着資材は弊社からも購入できます
右の QR コードよりお問い合わせください

【施工手順等】

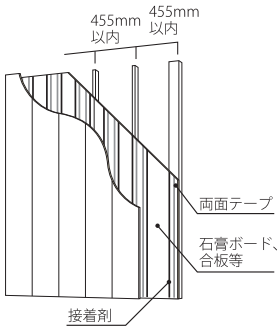
■施工前のご注意

1. 屋内の平らな場所で、床面からの湿気を防止できるよう床面直置きは避け、10 ～ 100 ㎜程度の高さで保管してください
2. 水濡れや汚れを防ぐため防水シート等で養生してください
3. 破損しやすい素材です。荷降ろし･搬入･運搬の際は充分注意してください
4. ボード下地上へ施工してください (石膏ボード･合板等) 充分な強度が得られます
5. 接着剤･両面テープは推奨品をご使用ください。接着剤の成分によっては施工後表面 にシミとなって浮き出ることが確認されています
6. 下地は乾燥した (含水率 20%以下) 材料を使用してください。水分の多い素材を使用した場合、商品が水分を吸収し、表面のシミとなって現れることが確認されています
7. 水分が多い場所、頻繁に水がかかる場所には施工しないでください
8. 初期接着強度が低い場合は建材用の両面テープを併用してください

■施工手順

1. 下地を石膏ボード (9.5 ㎜以上)　もしくは合板 （5.5 ㎜以上) でつくります
   下地は平滑に仕上げます
2. あらかじめ仕上げ材を施工する前に仮並べを行い、数量のチェックと共に位置を確認し、墨出しを行います
3. 両面テープと接着剤で施工していきます
   両面テープと接着剤を塗布する箇所のゴミ･ホコリを除去してください
   ビニールクロス等が施工してある場合は必ず除去したうえで施工してください (図 1)

(図1)



ラッピングウォールエコ　施工後のご注意･日常のお手入れ

1．表面に付着した汚れをそのままにしておくと、内部に染み込み落ちにくくなります。汚れが染み込む前にきれいな布等で拭き取ってください
2．汚れが付着した布や雑巾はかえって汚れをひどくする場合がありますので、使用しないでください。
3．汚れがひどい場合は中性洗剤を水で薄めた溶液に浸した布を固く絞り拭いてください。終了後、別の布を水に浸し固く絞り充分洗剤の成分を拭き取るようにします。洗剤が表面に残ったまま放置した場合、変色を起こす恐れがあります。
4．酸性･アルカリ性の洗剤、塩素系漂白剤、シンナー、金属タワシ、研磨剤は使用しないでください。
5．著しく日光の当たる場所で使用した場合、退色のおそれがあります。